



地域組織の確立で  
会員間の絆の促進を

### 政策課題ワーキンググループが始動 第1回委員会を開催

深刻化する少子化、人口減少に対応するために「税・社会保障の見直し」は避けられません。具体的には今後の医療、介護、年金、



子ども・子育て支援など見直しにどのようなステップを取るのか、JAMシニアクラブとして幹局長よりグループの構成、事会等で十分な議論が必要と見なされています。これらの議論を案がありました。重なるために必要な課題と問題点を整理し、資料づくりを行う「政策課題ワーキンググループ」(正式名称・政策制度の課題と問題点を整理するワーキング委員会)が発足しました。

2月21日、JAM本部見をもつメンバーの会議室において、JAMシニア三役6名と地方シニア、女性幹事、JAM総合政策グループ(現役)などが出席し、「政策課題ワー

キンググループ」の第1回委員会を開催しました。木村副会長を座長に選出し、

冒頭大山会長(ワーキンググループリーダー)からの趣旨説明、続いて大野事務局長よりグループの構成、委員会の進め方について提

その後、子ども・子育て支援、高齢者医療、介護保険、年金、高齢者の生活実態、介護労働者の労働条件などの諸課題についてフリー

社会保障問題について知見をもつメンバーの議論にシニアの課題と問題点が絞り込まれ、最後に今後の作業分担を確認して終了しました。第2回は4月26日に開催し、作業状況の報告を行うこととしました。

### 連合 デモに参加

2月22日(木)、構成組織・単組、地方連合会から約2000名が東京都内に結集し、「2024春季生活闘争2・22連合アクションデモ」を実施しました。



その後、東京駅方面に向けてデモ行進を行いました。当日は冷たい雨が降り続いていましたが、途切れることのない、「みんなで賃上げ、ステイジを変えよう」のシュプレヒコールの聲が夜の街にとどろきわたりました。

### 東日本大震災から13年 自然災害への備えを

JAM福島シニアクラブ  
代表幹事 高橋 直

昨年11月のJAM福島シニアクラブ総会で前佐藤代表幹事に代わり代表幹事に就任いたしました。JAM福島シニアクラブ設立から携わってまいりましたが、代表幹事になるとは思ってもいませんでしたので、今も会員の皆様とのコミュニケーションを取りながら会員拡大に向けて取り組んでまいりたいと思

今年元日から、能登半島地震が発生し甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

すとともに、被災された方々が一歩でも早く元の生活に戻れるよう、JAM福島シニアクラブとしても微力とはなりますが、復興に向け協力をしてまいりたいと思っております。

福島も「東日本大震災」から十三年が経ちましたが、全面復興にはまだまだ時間を要します。復興には公的機関の支援が不可欠です。

### 主張



今年元日から、能登半島地震が発生し甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

福島も「東日本大震災」から十三年が経ちましたが、全面復興にはまだまだ時間を要します。復興には公的機関の支援が不可欠です。

シニアクラブ全体として今後もお山積みで放置されている状態です。

政府は30年後までに福島県外での最終処分を法定化しましたが、13年経った現在でも方向すら見えていません。国内の風評被害は徐々に払拭されてきていますが、処理水の海洋放出により更なる風評被害が起らないことを願うばかりです。

近年、異常気象により大規模な自然災害が毎年のように発生しており、今後も起こりうる自然災害に対して自身と大切な人を守るよう他人事と思わずに災害への備えを改めていただきたいと思います。

